Panasonic®

SmartArchi

施工説明書
取扱説明書

保管用

（一般屋内用）

ＬＥＤスリムベースライト

【半埋込タイプ】

光　色	品　番		
	単　体	連結中用	連結端用
昼白色【5000K】	FYY(FYYH)26050	FYY(FYYH)26051	FYY(FYYH)26052
白　色【4000K】	FYY(FYYH)26040	FYY(FYYH)26041	FYY(FYYH)26042
温白色【3500K】	FYY(FYYH)26000	FYY(FYYH)26001	FYY(FYYH)26002
電球色【3000K】	FYY(FYYH)26030	FYY(FYYH)26031	FYY(FYYH)26032

【埋込タイプ】

光　色	品　番		
	単　体	連結中用	連結端用
昼白色【5000K】	FYY(FYYH)26150	FYY(FYYH)26151	FYY(FYYH)26152
白　色【4000K】	FYY(FYYH)26140	FYY(FYYH)26141	FYY(FYYH)26142
温白色【3500K】	FYY(FYYH)26100	FYY(FYYH)26101	FYY(FYYH)26102
電球色【3000K】	FYY(FYYH)26130	FYY(FYYH)26131	FYY(FYYH)26132

※上記（ ）内は加工品番です。（以降、加工品番の記載を省略します。）

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼して下さい。

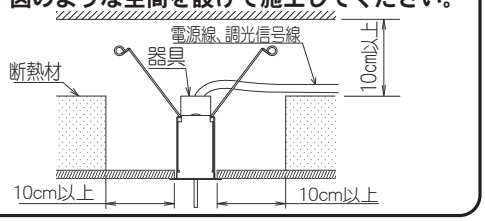
施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様へ必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠ 危険

●**断熱材、防音材をかぶせて使用しない。**
過熱による火災の原因となります。

器具は、断熱材・防音材・造営材と下図のような空間を設けて施工してください。



⚠ 警告

●施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
●器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
●水平天井埋込専用器具です。壁面や天井直付はしない。落下・感電・火災の原因となります。
●光源として高輝度ＬＥＤを使用しています。光源部（ＬＥＤユニット部）を長時間直視しないでください。
眼に障害をあたえる恐れがあります。
●表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、
腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
●周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。
●点検が行える場所に取付けてください。
●パネルに衝撃を与えたり、無理な力をかけないでください。パネル破損による落下の原因となります。
●パネルはキズ・汚れが付きやすいため、取扱いにご注意ください。
●器具の取付・取外しは手袋などの保護具を使用する。けがのおそれがあります。

施工上のご注意

・スイッチを接地側に取付けた場合、消灯後も薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側（電圧側）に
取付けてください。（接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします）
・Ｔ／Ｕ付６Ａリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。
詳細については、該当Ｔ／Ｕ付６Ａリレーのカタログ・商品仕様書をご参照ください。

施工上のご注意

・起動方式“ＬＡ”の器具は、当社適合コントロールとの組合せにより、光出力を約１０～１００％に変化させることができます。

■適合コントロール

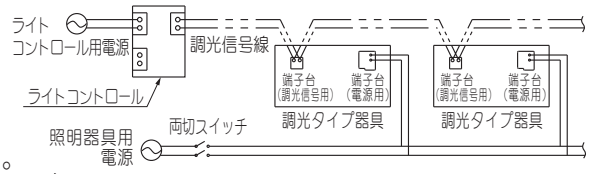
適合コントロール	ＬＡ
セパレートセルコン、インバータ蛍光灯調光Ｔ/Ｕ；スーパーマーケットセルコン	○注1
ライトコントロール、信号線式（ＬＥＤ･インバータ蛍光灯）（Ｈｆ側で使用）	○注2
ライトマネージャＳ＋連続調光インバータ照明器具用ブースタ（Ｈｆ側で使用） ライトマネージャＬ＋調光ボックス（Ｈｆ側で使用）	△注3

・適合コントロールは当社製品をご使用ください。適合コントロールの注意事項については適合コントロールの説明書をご確認ください。
・接続可能な器具台数は器具の定格電圧により異なります。詳細はライトコントロールの承認図、取扱説明書をご参照ください。
※ライトコントロールで照明器具電源を接続する場合、接続台数が減少する場合があります。
ライトコントロールの定格容量とＬＥＤ器具の定格を事前に確認してください。

注１）調光器による消灯後も薄暗く発光する場合があります。
注２）ライトコントロール側のスイッチで消灯した場合、消灯後も薄暗く発光する場合があります。演出用に消灯する際はご注意ください。
注３）調光器による消灯後も薄暗く発光する場合があります。演出用に消灯する際はご注意ください。

■結線について
・コントロールの結線と適合電線はコントロールの説明書をご確認ください。
・接地極のない電源に接続する場合は、右図の結線をおすすめします。
・接地極のない電源にライトコントロールのスイッチを介して接続した場合は、スイッチで消灯後もランプが薄暗く発光する場合があります。
・電源線は低圧屋内配線工事、調光信号線は弱電流配線工事が必要です。
・調光信号線は、電源線と束ねないでください。誤動作の原因となります。
・電線管をご使用の場合は、電源線と調光信号線を同じ管内に収納しないでください。

＜結線事例＞接地極の無い電源に接続する場合



各部のなまえと取付方法

● **取付前の準備**
取付の前に本体と灯具を外してください。

⚠注意
パネルはキズ・汚れが付きやすいため、取扱いにご注意ください。

【連結の場合の埋込穴寸法】

800　349　800　178　50±2
[1149×N+6]±2（N：連結数）

最低天井裏寸法
（バネの操作に必要な寸法です）
※断熱材・防音材・造営材と器具の間に必要な空間の寸法については１ページ「安全に関するご注意」参照

199(取付幅)　200mm以上

50±2　800　1155±2　電源線　角穴

3 端子台(電源用)
座金・ナット(別途)
バネ受金具
7 コネクタ
パネル
調光信号線
ボルトの引込みしろ 53～58㎜
4 本体
6 端子台(調光信号用)
5 バネ
5.8 灯具

・FYY26000(単体)の例で説明しています。

付属部品
取付ネジ
連結中用器具：２本
連結端用器具：１本

各部のなまえと取付方法

1．取付前の確認

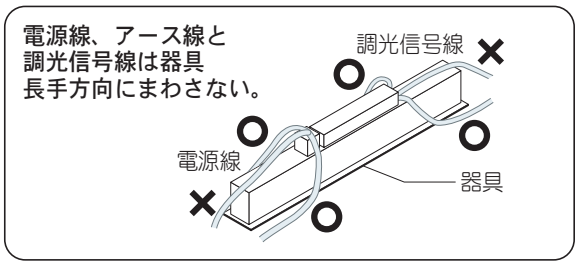
・器具質量（FYY26000：4.5 kg）に十分に耐えるようボルト取付部の強度・天井材の強度を確保する。
（取付ボルトは、W３／８またはM１０を使用する）
ボルトは極端な斜め出しにならないこと。
不備があると器具落下の原因となります。

⚠ 警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

2．埋込穴の開口

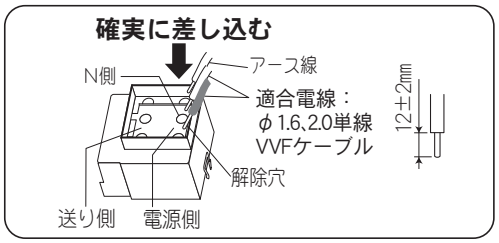
・埋込穴、取付ボルトを２ページの図のように用意しておく。
・電源線、アース線と調光信号線を埋込穴より引き出しておく。
**注）電源線、アース線と調光信号線は器具長手方向にまわさない。
不備があると電源線、調光信号線がバネや灯具に接触し取付できない場合があります。**



単体の場合　※連結の場合は４ページ参照。

3．電源線・アース線の接続

・電源線、アース線を確実に差し込む。
・D種（第3種）接地工事が必要です。
・端子台の容量は１５Ａです。（送り機能付）
接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、火災の原因となります。



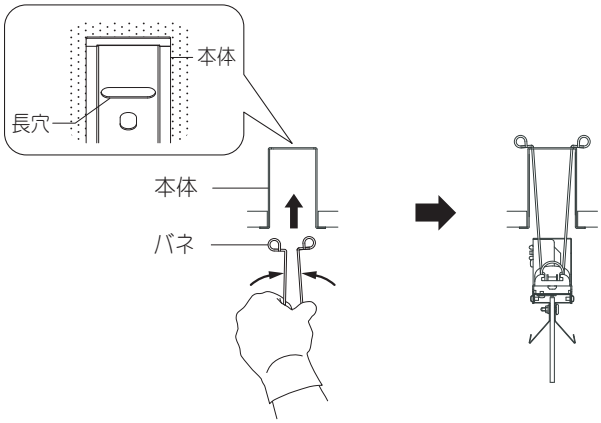
電源線の外し方
マイナスドライバー等を解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く

4．本体の取付

・調光信号線を本体の角穴より引き出しておく。
・本体を取付ボルトにボックスレンチなどで確実に締付け固定してください。（推奨トルク値：１．０Ｎ・m）
☞ ５ページ「器具背面図」参照。

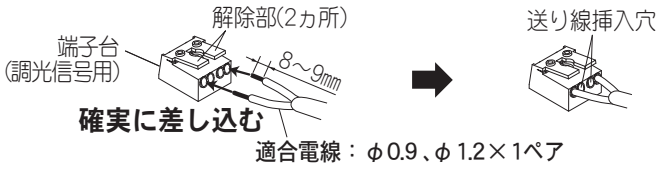
5．灯具の仮吊り

・灯具のバネをつまみながら、本体の長穴に引っ掛けて灯具を仮吊り状態にする。
取付が不完全な場合、灯具落下の原因となります。



6．調光信号線の接続

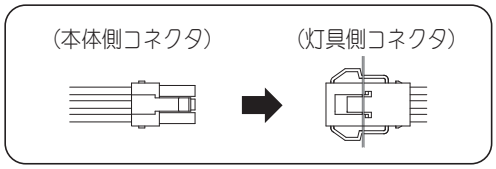
・調光信号線を確実に差し込む。
接続が不完全な場合、火災の原因となります。
・弊社適合コントロールをご使用ください。
注）制御可能台数はコントロールの取扱説明書をご確認ください。



調光信号線の外し方
解除部を押しながら調光信号線を引き抜く

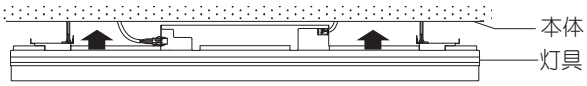
7．コネクタの接続

・本体側コネクタを灯具側コネクタに確実に接続する。
カチッと音がするまで差し込む。
不備があると不点灯の原因となります。



8．灯具の取付

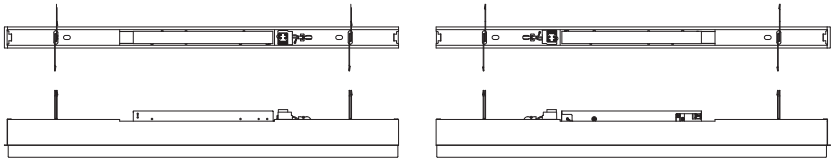
・灯具を押し上げ、本体に取付ける。
取付が不完全な場合、灯具落下の原因となります。
**注）灯具を取扱う際、パネルに無理な力をかけないでください。
パネル破損の原因となります。**



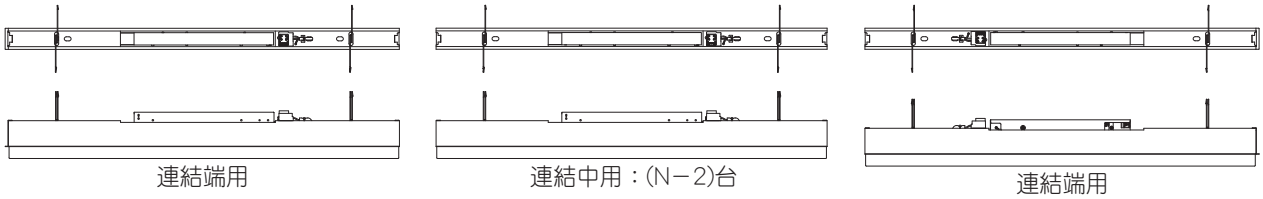
各部のなまえと取付方法(続き)

【連結器具の配置】

2台連結の場合

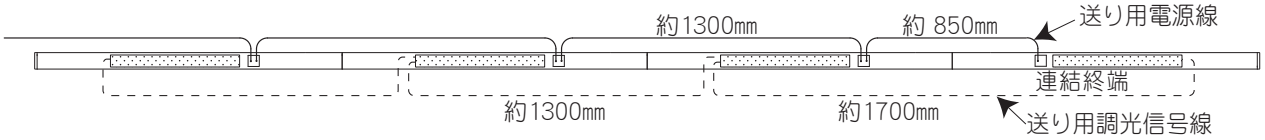


N台(3台以上)連結の場合 (N：連結数)



(注意)

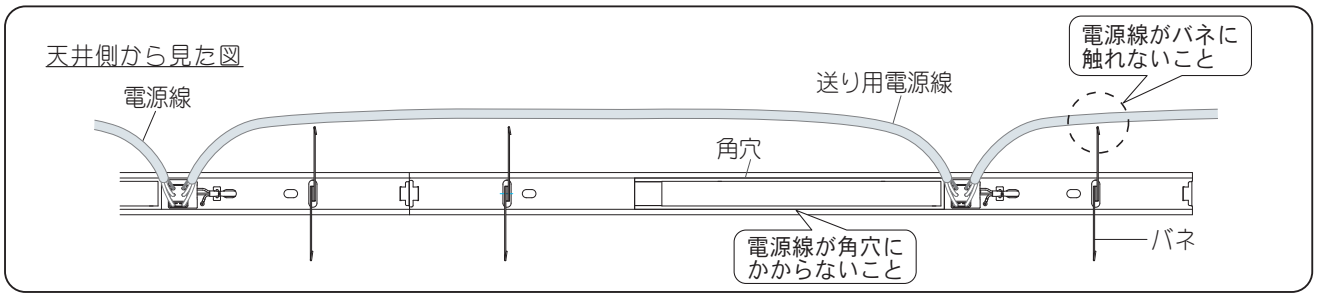
・下図のように、連結端用器具は向きが反対になるため、終端のみ接続する送り用電源線、調光信号線の長さが異なります。



連結の場合

3．電源線・アース線の接続

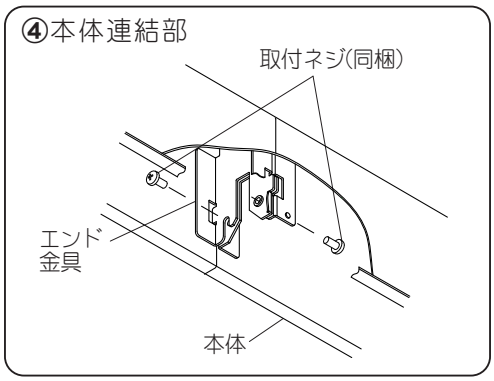
・１台目は３ページ「単体の場合」の手順３参照。
　２台目以降は電源線、アース線を端子台の送り側に確実に差し込む。
・送り容量は１５Ａです。
　接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、火災の原因となります。
　注）電源線及び送り用電源線はバネに触れないようにしてください。
　　不備があると器具の取付が出来なくなります。



4．本体の取付

① １台目は、３ページ「単体の場合」の手順４参照
② 送り用調光信号線を本体の角穴より引き出しておく
③ 次に連結する本体を取付ボルトに仮止めする
　(完全に締付けず、本体が動く状態にしておく)
④ 連結する本体を突合せ、エンド金具に取付ネジ(同梱)を仮止めし
　本体を連結後、締込む。
⑤ ③で仮止めした本体を取付ボルトに確実に締付け固定する
　(推奨トルク値：１．０ Ｎ・ｍ)
・３台連結以上の場合は、３、４(②～⑤)を繰返す。

注）灯具取付前に全ての連結器具の本体取付を完了させてください。
　　施工順序に不備があると施工できません。



5．灯具の仮吊り

☞ ３ページ「単体の場合」の手順５参照。

6．調光信号線の接続

☞ ３ページ「単体の場合」の手順６参照。

各部のなまえと取付方法(続き)

7．コネクタの接続

☞ ３ページ「単体の場合」の手順７参照。

8．灯具の取付

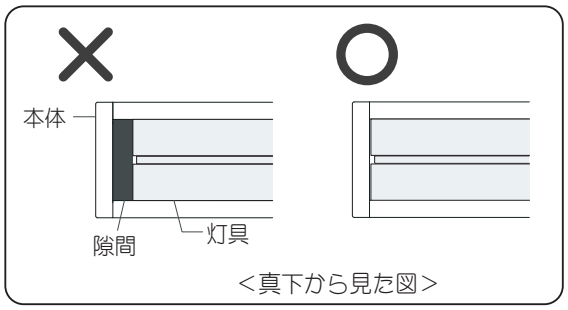
・１台目は、３ページ「単体の場合」の手順８参照。

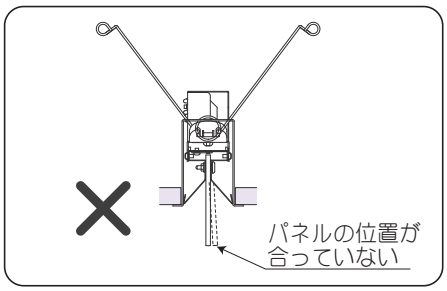
注）本体と灯具の間に隙間ができないように取付けてください。不備があると、連結終端部の灯具取付スペースが狭くなり灯具の取付ができなくなります。

２台目以降の器具の場合

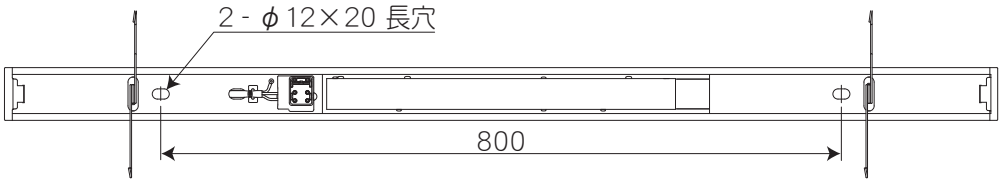
・となりの器具のパネルとの位置を合わせながら、灯具を押し上げ、本体に取付ける。
パネルの位置が合っていない場合は、一旦灯具を引き下げて再度パネルの位置を調整してください。
取付が不完全な場合、灯具落下の原因となります。

注）灯具を取扱う際、パネルに無理な力をかけないでください。パネル破損の原因となります。





器具背面図



取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管してください。**

ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

●器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

●お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
●シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
●照明器具には寿命があります。設置して１０年(※)経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検交換してください。※ 使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯です。
・ＬＥＤ光源は寿命が来ても暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(チェックシート番号：ＣＬＸ２０２１ＨＡ)
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

■ＬＥＤ照明器具の光源寿命(※)は、４０,０００時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
※光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の８５％に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

使用上のご注意

・光源として高輝度ＬＥＤを使用しています。光源部（ＬＥＤユニット部）を長時間直視しないでください。
眼に障害をあたえる恐れがあります。
・一般屋内でご使用の場合でも、器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。
（一部の食品や薬品、紙類などには硫黄成分が含まれます。また車の排気ガスにも硫黄成分が含まれます。）
光学性能に影響を与える場合があります。
・バーコードリーダーの機種によっては器具付近で使用した場合、読取り感度が鈍くなることがあります。
この場合には、器具との距離を離すか、遮蔽するなどの対策を講じてください。
・ＬＥＤにバラツキがあるため、ＬＥＤ個々、及び同一品番でも発光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
・天井面に段差やソリがあると、枠と天井に隙間が生じる場合があります。
・光出力比（％）と目で感じる明るさ感には相違があります。
・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合がありますが異常ではありません。
予めご了承ください。
・コントロールと組合せて使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。
同一器具または同一品番で点灯及び消灯時のフェードのしかたが異なる場合があります。
低い調光域では段調光のように動作する場合があります。
適合コントロール側のスイッチで消灯した場合、消灯後もＬＥＤユニットが薄暗く発光する場合があります。

保証について

●保証について …… この商品の保証期間は1年間です。但し、ＬＥＤ電源は3年間です。
詳細は弊社カタログをご参照ください。

●保証書について …… 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

●補修用性能部品の保有期間 …… 弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、６年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ

●器具の清掃について …・水または中性洗剤を浸した柔らかい布をよく絞って汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
・パネルは、から拭きしたり強くゴシゴシこすらないでください。
必ず柔らかい布を水に浸し、よく絞って少し湿り気のある状態で軽く拭き取るようにしてください。

⚠注意

●感電のおそれあり
お手入れ時は、必ず電源を切ってください

■定格

起動方式	定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V
ＬＡ９	入力電流	０.２４Ａ	０.１２Ａ	０.１０Ａ
	消費電力	２４Ｗ	２４Ｗ	２４Ｗ

パナソニック株式会社　ライティング事業部　〒571-8686　大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニック　照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター
0120-878-709（フリーダイヤル）　0120-872-460（FAX）

T0616 - 040620